

款	農林水産業費	項	農業費
事業名	そば消費拡大事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	1,800千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,800千円

【事業の概要】

新治地区は、常陸秋そばの生産が盛んな地域であり、そば品評会（全国そば優良生産表彰等）においても、平成21年から3年連続で表彰を受けるなど、高品質なそばの産地となっています。

この土浦産常陸秋そばを広く市内外にPRし、消費拡大と地域振興を図るため「第1回土浦そばまつり」を開催しました。

〔第1回土浦そばまつり〕

- 開催日時 平成25年11月2日（土）
- 場所 土浦市役所新治庁舎前駐車場
- 主催 土浦そばまつり実行委員会
- 来場者数 約5,000人（土浦市環境展と同時開催）
- 出店数＜出店団体＞
そば販売：6団体
そば創作料理（まんじゅう、パスタ、ケーキ等）：5団体
その他（そば道具、ジュース等）：4団体
- 販売数
そば販売数：2,240食
そば創作料理販売数：1,149食
- その他関連イベント等
そばの大食い大会、そば打ち体験教室、楽器演奏、新治音頭等を行いました。



「第1回土浦そばまつり」の様子

【事業の成果】

土浦そばまつりの開催によって、市内外の住民に対して「土浦産常陸秋そば」の認知度を高めることができました。また、市内で活動している住民団体等がイベントに参加することにより、一体感が生まれ、地域の活性化に繋がる活動ができました。

さらに、そばの加工品も来場者に好評であり、様々な商品の展開による消費の拡大が期待されます。

款	農林水産業費	項	農業費		
事業名	都市と農村の交流事業				
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり				
決算額	560千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	560千円

【事業の概要】

平成20年度に設立した「土浦市都市と農村交流事業検討委員会」において、本市交流事業の在り方・方向性を取りまとめた「土浦市都市と農村の交流事業調査報告書」を作成し、新治地区と霞ヶ浦周辺地区が重点地区として示されました。平成21年度に「新治地区都市と農村交流事業推進協議会」を、平成22年度には「霞ヶ浦周辺地区都市と農村交流事業推進協議会」をそれぞれ設立し、交流事業等を行っています。

1 平成25年度「新治地区」における交流事業の取組

① 農業体験の取組

協議会内部組織「ふるさと農業体験塾」において、4回の野菜づくり体験とそば打ち体験、豆腐づくり体験を実施し、23組33人の参加者がありました。

② 小野周辺の農村景観整備

小町の里を中心とした景観形成事業として、小町の里への「菜花は種」及び「彼岸花植栽」と小町の里周辺の除草を行いました。

③ 「田んぼアート」の実施に向けて、アート創りの方法を学んだほか、会場となる水田の選定等に取り組みしました。

2 平成25年度「霞ヶ浦周辺地区」における交流事業の取組

① 地区の特産物を活用した取組として、イベント等での特産物の販売・加工体験を実施しました。

キララまつり：果樹アイスクリームの販売

産業祭：はすの実の工作体験

② 「土浦れんこん道場」を4回実施し、12人の参加者がれんこんの生育を学習しました。

3 農業体験のできる「市民農園」の開設

高津農園、神立農園、摩利山農園、及び中村西根農園に加え、平成25年度から「虫掛農園」の供用を開始しました。

〔平成25年度利用実績〕

地 区	農園名	区画数	利用可能区画	貸出区画
四中地区	高津農園	114	90	82
上大津地区	神立農園	85	80	71
六中地区	摩利山農園	40	36	35
三中地区	中村西根農園	30	29	27
一中・二中地区	虫掛農園	16	16	8
合 計		285	251	223



ふるさと農業体験塾



そば打ち体験



土浦れんこん道場

【事業の成果】

地区の特色を活用した事業を展開することにより、都市住民が農村部を訪れ、農業体験等を通して、農業への理解と住民同士の交流を深めることができました。また、新たに農園を開設し、都市住民が土に親しみ作物を育てることで農業への関心や理解を深め、レクリエーションや生きがいづくりの場を提供することができました。

さらに、地区の特産物を生かした加工品等を活用し、都市住民に農業への関心や理解を深めてもらうことができました。

款	農林水産業費	項	農業費				
事業名	県営ほ場整備事業（手野地区、坂田地区）						
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
決算額	101,501千円	財源内訳	国県支出金等	75,942千円	一般財源	25,559千円	

【事業の概要】

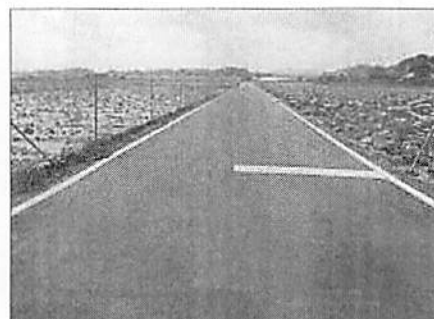
◎手野2期地区

霞ヶ浦沿岸に広がる未整備のレンコン地帯約173ヘクタールについて、道路、用排水及び区画形状を整備することにより、農地の集団化を図り、近代的農業基盤を確立することを目的として、平成7年度に県営ほ場事業として採択を受け、事業に着手しています。平成17年度に手野1期地区の134.5ヘクタールの整備が完了し、現在、手野2期地区の38.5ヘクタールの整備を進めています。

- 事業主体：茨城県
- 事業期間：平成18年度～平成26年度
- 総事業費：1,452,100千円
- 事業内容：整地工 38.5ha
道路工・排水路工・揚水機場 2か所
- 整備済面積：38.5ha

[平成25年度]

- 県営ほ場整備事業負担金 5,000千円
 - ・支線道路舗装工 L=1,220m
 - ・付帯工 一式
- 市単独事業費 89,041千円
 - ・歩道整備工 L=1,086m
 - ・用地取得（基金買戻し分）A=4,053m²



整備箇所（手野2期地区）



位置図（手野2期地区）

◎坂田地区

国道125号線と桜川の間畑地帯33.6ヘクタールについて、道路及び水路等の整備や耕地整理などの基盤整備を実施することにより、営農の省略化を図り、生産性の高い農業基盤を確立することを目的として、昭和61年度から県営ほ場事業として整備を進めています。

- 事業主体：茨城県
- 事業期間：昭和61年度～平成26年度
- 総事業費：1,010,000千円
- 事業内容：区画整理工 33.6ha
道路工 L=7,269m
排水路工 L=8,743m
- 整備済面積：33.6ha

[平成25年度]

- 県営ほ場整備事業負担金 5,518千円
 - ・幹線道路舗装工 L=200m
 - ・支線道路舗装工 L=2,496m

埋蔵文化財発掘整理委託料 1,942千円



整備箇所（坂田地区）



位置図（坂田地区）

【事業の成果】

整地工及び道路等の整備を行い、農業生産基盤の充実・推進に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	一般地帯土地改良事業(農道・かんがい排水事業)					
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	72,948千円	財源内訳	国県支出金等	41,060千円	一般財源	31,888千円

【事業の概要】

農業振興地域の農道及び水路の環境整備により、遊休農地の解消に努めるとともに、営農効率を高め農業経営の安定を図りました。

○農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
平成25年度までの整備延長 193.9km (約54%)

○かんがい排水整備

- ・農用地区域の整備延長 約93km
平成25年度までの整備延長 17.6km (約19%)

[平成25年度実施事業]

農道整備 48,566千円

- ・農道改良工 2地区 L=276m
(手野谷原地区, 虫掛地区)

- ・農道舗装工 8地区 L=973m
(今泉地区, 小野地区, 永井地区, 田村地区, 大志戸地区, 菅谷地区, 常名地区, 木田余地区)

かんがい排水整備 12,855千円

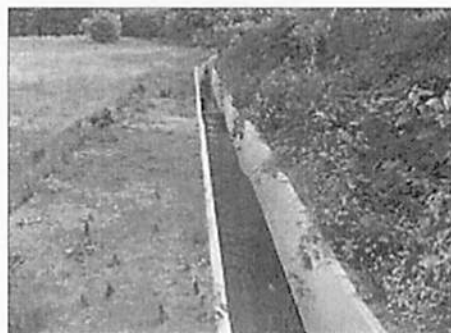
- ・排水路整備工 2地区 L=300m
(常名地区, 東城寺地区)



農道改良箇所



農道舗装箇所



かんがい排水整備箇所

【事業の成果】

農道及び水路の整備によって大型機械の進入が可能となり、営農効率の向上に寄与しました。

款	商工費	項	商工費
事業名	プレミアム付商品券補助事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	20,431千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 20,431千円

【事業の概要】

消費者の利便性の向上を図るとともに、市外への消費流失防止や、市内商業の発展と振興を図ることを目的に、土浦商工会議所が主体となり発行した額面3億3千万円（1割のプレミアム分を含む）の商品券について、商品券の発行に係る経費（1割のプレミアム分、印刷費、PR費等）の一部を補助しました。

〔補助対象事業費内訳〕

商品券発行額 330,000千円（1,000円券8枚、500円券6枚の計14枚つづり×3万セット）
1,000円券4枚は、大型店でも使用可能
プレミアム補填 15,000千円（プレミアム分30,000千円の2分の1）
事務費 5,500千円（商品券印刷・広報PR）

〔平成25年度実績〕

第15期

期 間 平成25年7月1日（月）～平成25年10月31日（木）
発行額 165,000千円

第16期

期 間 平成25年12月1日（日）～平成26年3月31日（月）
発行額 165,000千円

取扱店 604店（第15期） 584店（第16期）

〔決算額内訳〕

（単位：千円）

区 分	金 額	概 要
プレミアム補填分	14,931	プレミアム付商品券回収分に対するプレミアム補填分
事 務 費	5,500	商品券印刷・広報PR
合 計	20,431	



第16期プレミアム付商品券



プレミアム付商品券チラシ



販売店及び加盟店用のぼり旗

【事業の成果】

事業開始時は、商品券の完売までに約1か月間を要していましたが、1割のプレミアム付商品券のPR効果もあり、最近では数日で完売するなど人気が高まっています。

平成25年度の換金実績を見ると、経済の低迷や郊外大型店舗の出店が進む厳しい商業環境の中にあっても、個店での利用割合が80%、大型店での利用割合が20%と、市内の個店及び専門店での利用者が多く、市外への消費流失防止と市内での消費の拡大につながりました。

款	商工費	項	商工費
事業名	企業誘致事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	46,857千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 46,857千円

【事業の概要】

1 工業団地PR

市内の工業団地に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市にて開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内工業団地のPRを実施しました。

・いばらき産業立地セミナー（東京都中央区日本橋）

開催日：平成25年11月20日（水） 参加企業：233企業 来場者数：410人

内 容：市内工業団地・観光のPRブースを設置しました。

・いばらき産業立地セミナー I N大阪

開催日：平成26年1月28日（火） 参加企業：78企業 来場者数：130人

内 容：市内工業団地・観光のPRブースを設置しました。

2 企業立地奨励金

市内の工業専用地域、準工業地域及び東筑波新治工業団地に新設又は増設をする法人で、新・増設に伴い新規採用により従業員数が5人以上増加したものに対して、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

・平成25年度奨励金交付実績

（単位：千円）

No.	企業名	金額	No.	企業名	金額
1	花園饅頭	5,257	6	ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ	1,832
2	環境経営総合研究所	9,215	7	J F E ライフ第3期増設	3,772
3	東立運輸	1,368	8	S・T e c フーズ	8,297
4	スミダ飲料	11,330	9	フルヤ金属	1,963
5	郷商事	2,842	合 計		45,876

・市内工業団地分譲状況

（単位：ha）

工業団地名	総 区 画	未 分 譲
東筑波新治工業団地	14区画（22.6）	1区画（1.0）
おおつ野ヒルズ	12区画（21.6）	6区画（15.9）

3 企業等立地に係る土地調査

市街化区域内の企業等の進出可能な空き地などの調査及び市街化調整区域における工業系地区計画の可能性調査を実施しました。

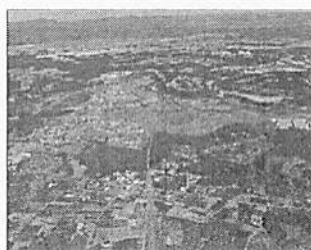
【決算額内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
企業誘致奨励金	45,876	㈱花園万頭ほか8社
旅費等	246	企業立地促進先進市視察、産業立地セミナー
委託料	735	㈱都市環境計画研究所
合 計	46,857	



企業誘致パンフレット



土浦おおつ野ヒルズ



産業立地セミナー

【事業の成果】

県外での産業立地セミナーへの参加等により、本市及び市内工業団地を広くPRした結果、東筑波新治工業団地においては残1区画（1ha）となり、現在立地に向けた交渉を行っております。また、企業等の進出可能な土地の調査では、市内数十箇所の適地エリアを割り出しました。

款	商工費	項	商工費
事業名	小町の館整備事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	22,774千円	財源内訳	国県支出金等 11,800千円 一般財源 10,974千円

【事業の概要】

小町の里周辺の自然環境や歴史・伝承といった様々な地域資源と特性を活かし、交流人口の拡大による本市の産業振興や地域経済の活性化を図るため、平成24年度に整備された小町の館本館及び体験館において、地域資源を活用した各種体験活動を実施するとともに、草花播種等による景観整備、ハイキングコースの整備等を実施しました。

さらに、不足していた駐車場を新たに整備し、来館者の利便性の向上を図りました。

【事業費内訳】

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	8,225	小町の館指定管理委託 周辺景観整備草花播種委託等
工事請負費	8,075	駐車場等整備工事
公有財産購入費	4,910	駐車場用地取得
備品購入費	185	農産物直売所案内看板購入
需用費等	1,379	散策道修繕等
合計	22,774	



小町の里散策道

【体験講座の様子】



ジャム作り体験

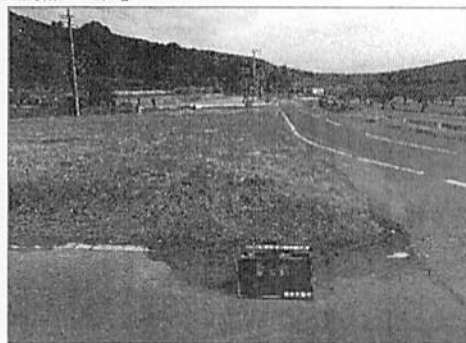


エコ・キャンドル作り

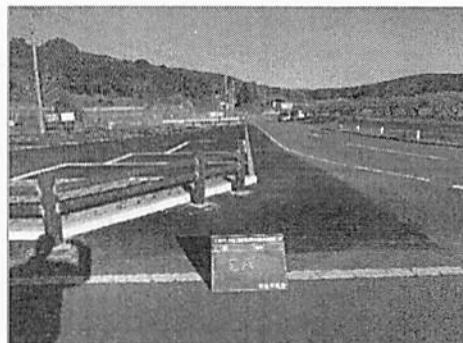


土器作り体験

【駐車場整備工事】



施工前



施工後

【事業の成果】

平成24年度に整備した体験館等においては、各種講座を延べ76回開催し、1,311人の方々の参加を受け、好評を得ることができました。また、小町の里周辺において、季節の草花の植栽等により景観を整備するとともに、小野越峠ハイキングコースの修繕整備のほか、複数の散策ルートを調査し、老若男女が楽しめる変化に富んだコースを検討しました。さらに、隣接用地を来館者用駐車場として整備し、新たに32台分の駐車スペースを確保することで、利便性の向上を図りました。

こうした取組が評価され、平成25年度茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業において、「まちづくりグリーンリボン賞」を受賞しました。

款	商工費	項	商工費
事業名	中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の推進		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	75,780千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 75,780千円
【事業の概要】			
食のまちづくり事業			
本市の食の歴史や地元産品等の地域資源の利活用や地産地消の考え方に基づき、オリジナルカレーの普及・開発を図りました。 さらに、カレーフェスティバルについては、第10回を記念して2日間開催し、カレーのまち土浦をPRするとともに、全国のご当地カレーと交流を深めました。 〔第10回土浦カレーフェスティバル〕 平成25年11月16日（土）・17日（日） 川口運動公園 63店舗 来場者約75,000人			
ジャズフェスティバル開催事業			
中心市街地の商店会が実施主体となり、商店会の活性化とまちなかのにぎわいづくりのため開催する「ジャズフェスティバル」への支援を行いました。 〔サウンド蔵つちうら2013〕 平成25年9月15日（日） ウララ広場（荒天のため中止）			
まちなか交流ステーション事業			
学習スペース及び会議室を学生や市民有志の集まり、地元商店会等に広く提供するとともに、商店会等の七夕、クリスマス、ひな祭りイベントへの協賛・協力、来街者へのまちなかの情報提供などを行いました。 ・来館者数…8,430人			
まちづくり活性化バス運行支援事業等			
中心市街地への集客力・来街機能、生活環境の向上を図るため、まちづくり活性化バス「キララちゃん」の運行支援を行いました。平成25年度の乗車状況は、土浦駅前大型店が閉店した影響もあり、前年比2,885人（1.83%）の減少となりました。 ・平成25年度利用者数…154,713人（1日平均423.9人、1便平均10.3人）			
まちづくり機関支援事業			
中心市街地活性化の取組を横断的・総合的にコーディネートする役割を担うまちづくり機関に対して運営支援を行い、民間主体のまちづくりを推進しました。			
中心市街地まちなか元気市開催事業			
中心市街地のまちなか空間を活用し、地元商店街等との協働により元気市を開催することで、中心市街地のにぎわいを創出しました。 〔まちなか元気市〕 第19弾 平成25年4月21日（日） モール505 かすみがうらマラソンランナーズヴィレッジ（選手村）として開催 来場者約20,000人 第20弾 平成25年9月15日（日） ウララ広場 「軽トラ市」の開催（荒天のため中止） 第21弾 平成25年10月5日（土） ウララ広場・ウララマルシェ内 土浦全国花火競技大会来街者へのおもてなしイベントとして開催 来場者約2,000人			
まちなか彩り・生き生き鯉のぼり事業			
中心市街地の商店街や公園等のまちなか空間を活用し、地元商店街等との協働でフラワーポットや鯉のぼりを設置するなど、まちなかに彩りによる演出を施し、にぎわい創出に努めました。			

中心市街地「まちの駅」おもてなし事業

中心市街地の既存施設や商店等を活用して、まちなかの交流施設「まちの駅」を設置し、来街者にトイレや観光情報等を提供するなどのおもてなしを行い、まちなかを気持ちよく回遊していただくことで、中心市街地のにぎわい創出に努めました。

まちなかドリンクラリー事業

飲食店事業者・商店会のネットワーク化により、おもてなしの機運醸成が図られるとともに、市外からも多くの参加者を迎える「かすみがうらマラソン大会」と同日開催することで、多くの参加者を集めることができ、まちなかににぎわいを創出しました。

〔第3回まちなかドリンクラリー〕

平成25年4月19日（金）～平成25年4月21日（日）

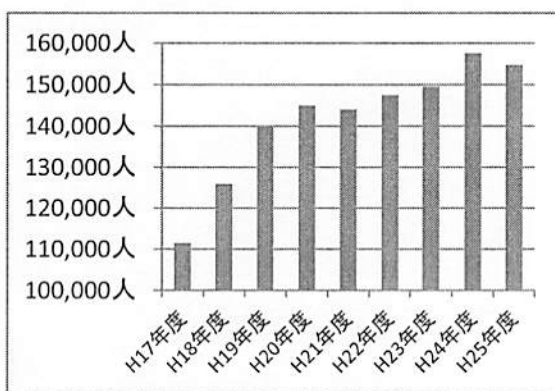
参加飲食店62店 参加者（チケット売り上げ）506組

大型店撤退対策にぎわい創出事業

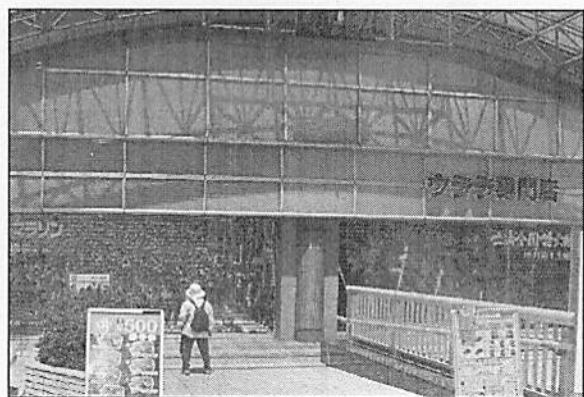
土浦駅前大型店の閉店を受けて、中心市街地で物販・サービス業など開業を希望する事業者を募り、店舗跡で「ウラマルシェ」を実施したほか、同ビルのシャッターには、土浦市を象徴する風景の装飾を施しました。また、ビル壁面には、本市のイメージキャラクター「つちまる」やイベント情報などをさまざまな色の光で表示するプロジェクトを実施することで、まちなかににぎわいを創出しました。



土浦カレーフェスティバル



キララちゃんバス乗客数の推移



シャッターラッピング



ウラマルシェ

【事業の成果】

事業者・NPO・関係団体及び市民との協働により、中心市街地活性化事業とにぎわいづくりの取組を展開することで、「土浦市中心市街地活性化基本計画」の基本理念である「歴史が息づき 人々が集う、魅力ある湖畔の都市（まち）」を推進し、中心市街地のにぎわい創出に寄与しました。

平成25年2月に大型店が閉店したウララでは、土浦駅前のにぎわい創出事業として、食料品・家具・衣料品等の物販、マッサージ・ネイルサロンなどのサービス業などが出店した「ウラマルシェ」や、シャッターに土浦の四季折々の風景を印刷するラッピング事業などを実施し、にぎわい創出を図りました。

款	商工費	項	商工費
事業名	第82回土浦全国花火競技大会事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	71,416千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 71,416千円

【事業の概要】

全国有数の煙火業者(20都道府県56業者)の出品による花火競技大会を開催することで、わが国の煙火技術の向上を図るとともに、多くの観客の誘致による、本市の観光事業及び商工業の発展に寄与することを目的に開催しています。

期日：平成25年10月5日（土）

場所：桜川畔学園大橋下流付近

種目：スターマインの部：22台、 10号玉の部：45発、 創造花火の部：22組

〔平成25年度事業費〕

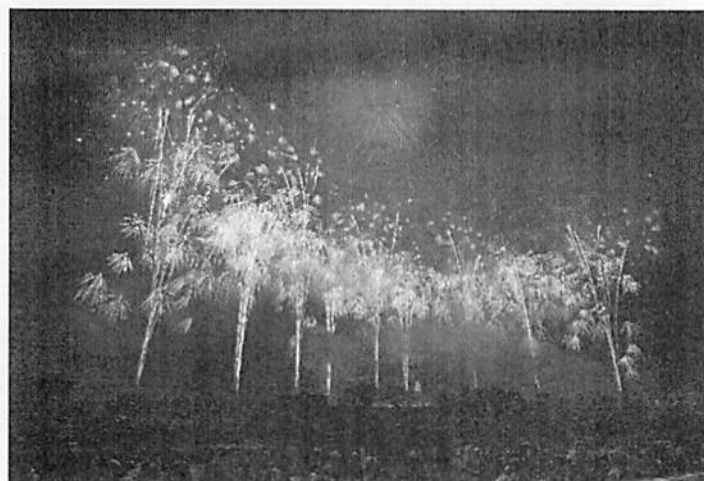
（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
職員手当等	6,185	係員時間外手当
補助金	65,231	花火大会事業費補助
合 計	71,416	

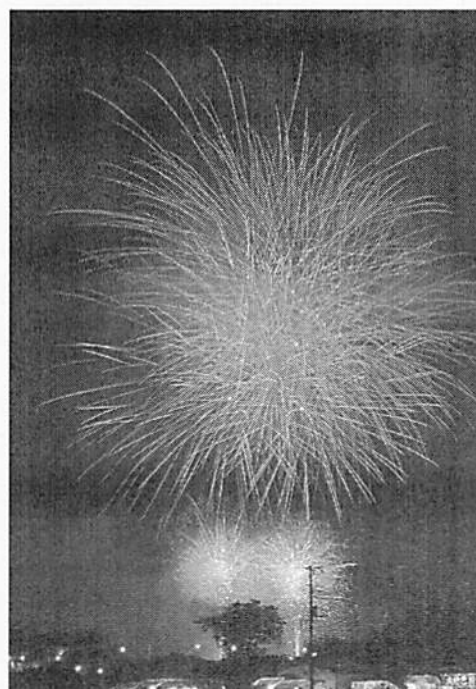
〔花火競技大会収支決算〕

（単位：千円）

収 入	203,637	市補助金 栈敷席収入等
支 出	203,637	栈敷席設置 安全対策等



大会提供ワイドスターマイン



フォトコンテスト最優秀賞作品

【事業の成果】

悪天候の影響により、約55万人の観覧客数となりました。例年の安全対策に加え、京都福知山での火災事故を教訓に、観客が集中する栈敷席エリアや一般観覧席エリアを中心に火災対策を徹底したほか、災害等が発生した場合の帰宅困難者対策にも万全の態勢で臨むことができました。

なお、大会においては、競技花火のみならず、毎回好評を得ている大会提供花火ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、エンディングには7号玉82発を打ち上げることで、大会全体の魅力向上に努め、本市のイメージアップに寄与しました。